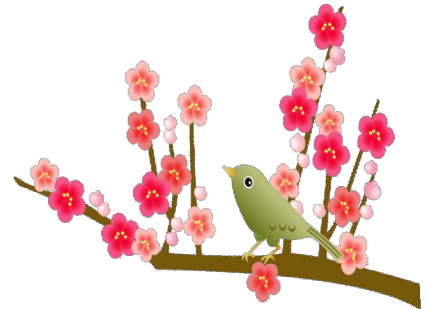


# 今年も暮らしの要求実現めざし みなさんとご一緒にがんばります

「今年こそ、希望の持てる年を」と願う新たな年の幕開けです。合併して3年目ですが、まちづくりを「市民が主人公」で推進する年にもなります。増税や社会保障制度の改悪、憲法改悪の動き…。しかし、市民の願いは、暮らしと平和を守る政治です。今年も、みなさんとご一緒に全力でがんばります。



日本共産党野洲市委員会

日本共産党野洲市議団は、12月26日、来年度の市予算について、市民の要望を盛り込むよう市各部と交渉しました。【市役所にて】



## 来年度予算で市交渉

- 介護保険料・利用料を減額免除できる独自の条例を制定されること。ホテルコストの食費・居住費の7割補助を創設されること。
- 学童保育所は適正な定員を定め、1学区に数箇所の施設にし、待機児童を作らないようにされたい。
- 高い国民健康保険税の引き下げをされること。資格証明書や短期保険証の交付をやめられること。
- 在宅歯科治療を実緊急通報システムの所得制限を拡大し、二人暮らしや昼間高齢者にも利用できるようにされること。
- 中学校卒業まで通院の医療費を無料にされること。
- 野洲病院の小児科日曜日診療の復活を求められること。
- 30人学級を実施されること。
- 学校図書室に専任司書を配置されること。
- 就学援助の所得制限を生活保護基準の1.5倍にされること。
- いじめによる自殺などが起きているが、いじめがあれば、教師集団による対応をされること。評価制度を止められること。
- 幼稚園送迎バスの運行は、園児の安全対策上から、集落内を基本にされ、運行ルートや停車位置を変更されること。
- 循環バスをワンコインバスにされ、遠方からの利用者が平等に。路線バスの運賃も、シルバーパスの利用を可能とされること。
- 新婚の家賃補助や市営住宅の建設を促進されること。
- 防犯灯の電気代は行政負担とされること。
- 四塩化炭素の発生源を突き止めるため、土壌調査を講じられること。地下水保全条例を制定されること。
- JR柿の木原踏切や新踏切の歩道設置をされること。
- 野洲駅やコミュニティセンターで、印鑑証明や住民票などの証明書が発行できるように、オンライン化されること。
- びわ湖の環境保全のため、農業排水の浄化対策を行なうこと。
- 地元商業の振興とまちの将来を見据えた「まちづくり条例」を制定されること。
- 「新幹線栗東新駅」への負担金は止めること。
- 同和行政は終結し、同和地域に限定した施策は止めること。
- 平和都市宣言にふさわしく、平和行政と教育を推進されること。
- 住宅リフォーム補助制度を創設されること。
- 年金制度の改悪に反対されるとともに、財源対策として消費税を引き上げる計画の撤回を政府に求められること。
- 障害者自立支援法は、自立阻害になっている。応益負担でなく、応能負担にするよう政府に求められること。

予算要望は、福祉・医療、教育、農業、環境、まちづくりなど、108項目です。子どもやまちの安全では、市内各所の道路の歩道整備や信号機設置を始め、河川改修など地域要求の実現を求めました。「安全・安心のまち」へ、引き続き、みなさんのご意見・ご要望をお寄せください。

やす民報

日本共産党野洲市委員会  
2007年1月14日 No.110

市議団の活動 ホームページでご覧になれます

日本共産党市議団では、ホームページでも活動をお知らせしています。ぜひご覧ください。

<http://www.yasusigi.net/>